

第7章 チェックシート

7.1 火災リスクを伴う作業に対するチェックシート

本資料をとりまとめる過程で、道路橋に関わる工事現場において溶接や溶断の作業では特に火災リスクが高いことが明らかとなった。

本研究では、調査や各種の情報収集結果を受けて、鋼橋とコンクリート橋のそれぞれに対して現場溶接、溶断等の作業工程に関連づけて、現時点で火災リスクをできるだけ小さく抑えるための一助にすべく、以下のとおり現場でのチェックシートの例を作成した。なお、これらの例によれば万全ということではなく、実際の施工条件や現場の状況に合わせて適切な防火対策を講じる必要がある。

- | | |
|-------------------------|---------|
| (1) 現場溶接作業（鋼橋・波型鋼板ウェブ橋） | 表-7.1.1 |
| (2) ガス溶接・溶断作業（コンクリート橋） | 表-7.1.2 |
| (3) 火災リスク総合 | 表-7.1.3 |

表-7.1.1 現場溶接作業チェックシート（鋼橋・波型鋼板ウェブ橋）

社 名 _____

点検日 平成 年 月 日

点検者 _____ ㊟

点検項目		確認
作業開始時	溶接を行う裏側や周囲に引火・爆発・火災等の原因となる危険物はないか。（則第 290 条）	
	溶接箇所の周辺は防災シート、スパッタシート等で養生されているか。	
	作業場所周辺に消火器や防火用バケツ等の消火設備が配置されているか。（則第 291 条）	
	受電設備または発電機は、溶接に用いる機器に対して電力容量が満たされているか。	
	溶接機のアースは適切に取られているか。	
	桁下に枯草や樹木がある場合、除草・散水などの処置を講じたか。（土地所有者との協議を要する場合がありますので注意）	
	市街地・夜間作業・鉄道・道路等の近接場所での作業等、環境に応じて監視員を配置しているか。	
	アーク溶接機を用いて行う金属の溶接、溶断等の業務を行う作業者は、特別教育を終了しているか。（則第 36 条）	
	ガス溶接作業者はガス溶接技能講習を終了しているか。（則第 78 条）	
	必要に応じて、ガス溶接作業主任者を選任しているか。（令第 6 条）	
作業状況	被覆溶接作業を中断するときに、溶接機のスイッチを切り、溶接棒をホルダから外しているか。	
	サブマージアーク溶接を行う鋼床版溶接では、溶接箇所直下に鉄板等を用いた局所養生を行っているか。	
	溶接棒の残棒やスラグは 1 箇所を集めるなどして適切に処理されているか。	
	みだりに喫煙、採暖、乾燥等の行為をしていないか。（則第 291 条）	
作業終了時	溶接機の電源、受電設備または発電機のスイッチは切られているか。	
	作業終了時、昼の休憩時には残火がないことを確認して現場を離れているか。	

表-7.1.2 ガス溶接・溶断作業チェックシート（コンクリート橋）

社 名 _____

点検日 平成 年 月 日

点検者 _____ ㊟

点検項目		確認
使用開始時	作業場所に消火器を設置しているか。(B-10 以上)	
	アセチレン調整器に逆火防止器を取付けているか。(1 吹管に 1 台以上)	
	ホースに亀裂、ひび割れ等損傷している所は無いか。	
	石鹼水等で調整器、吹管取り付け部、ホース接続部等の漏れ検査を実施したか。	
	ホースの接続部はホースバンドで締め付けているか。	
	吹管のガスバルブは正常に作動しているか。	
	吹管の火口がつぶれたり、目詰まりを起していないか。	
	調整器の圧力計に破損、異常が無いか。	
	酸素ボンベのバルブ、調整器の足ネジ部に油脂や可燃物が付着していないか。	
	容器バルブに開閉ハンドルが常時取付けられているか。	
	アセチレン容器は立てた状態で、転倒防止措置が取られているか。	
	酸素容器を横置きしている場合、歯止めをしているか。	
	酸素容器を立てて使用している場合、転倒防止措置が取られているか。	
	作業者は労働安全衛生法におけるガス溶接技能講習修了者であるか。	
容器を車両に乗せた状態で溶接溶断作業をしていないか。		
作業状況	バルブは静かに、確実に開閉しているか。	
	温度 40 度以下の通風のよい場所で作業を行なっているか。	
	夏期、直射日光が当たる場合、ボンベにカバーを設置しているか。	
	使用場所から 5 m 以内で喫煙、火気の使用を禁じ、引火性、発火性の物が無い か。	
	吹管への点火は、酸素を止めた状態で行なっているか。	
	吹管の消火は、酸素を止めてからアセチレンを止めているか。	
	火花の飛来する恐れのある場所に容器を置かない。また、防災シート等で火花 の飛来防止措置を講じているか。	
使用終了時	バルブを閉じ、容器の転倒及びバルブの損傷を防止する措置を講じているか。	
	ホース内の残ガスは必ず放出しているか。	
	車両にボンベを乗せた状態で容器を保管していないか。	

表-7.1.3 火災リスク総合チェックシート

社 名 _____

点検日 平成 年 月 日

点検者 _____ ㊦

点検項目		確認
火気・電動工具使用	可燃物・引火物を除去しているか。	
	火花の飛散養生を実施しているか。	
	消火器を配備しているか。	
	高所での作業の場合、作業場所の下方に見張り員を配置するなどの対策をしているか。	
	当該作業を関係者に周知しているか。	
塗装等有機溶剤使用	換気は十分か。	
	材料を小分けにし、必要最小限を持ち込んでいるか。	
	容器はその都度密閉しているか。	
	周辺で火気、スパーク、高温物を伴う作業はないか。	
	静電気対策として、装置等はアース等を取り、電気機器類は防爆型（安全増型）を使用しているか。	
	工具は火花防止型を使用しているか。	
	帯電防止型の作業服、靴を使用しているか。	
喫煙・採暖・乾燥	喫煙場所を決め、限定しているか。	
	喫煙場所の周囲に可燃物や危険物がいないか。	
	指定喫煙場所に、消火器を設置しているか。	
	吸い殻を水で消火後に灰皿に捨てられているか。あるいは灰皿に水を張っているか。	
	吸い殻はこまめに収集されているか。	
	最終退出時・退場時に消火を確認したか。	
	上記を周知・徹底しているか。	